

練馬区立光が丘四季の香小学校

学校だより



<学校評価>

教育目標：自ら考える子・思いやりのある子・たくましい子

HP <https://www.nerima-tky.ed.jp/shikinokaori/>

令和7年2月7日

TEL 03-3977-2711

校長 繁田 幸江

第172号

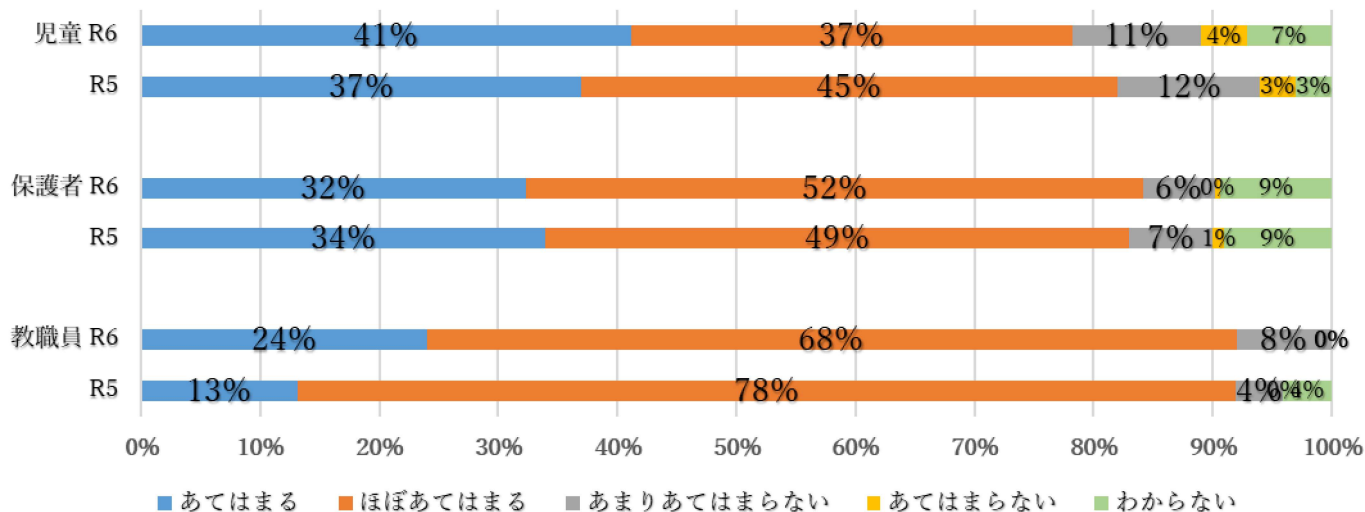
令和6年度 練馬区立光が丘四季の香小学校 学校評価

令和6年12月実施 <回答数> (児童) 408名 (保護者) 266名 (教員) 25名

上段が令和6年度学校評価、下段が令和5年度の学校評価の結果です。

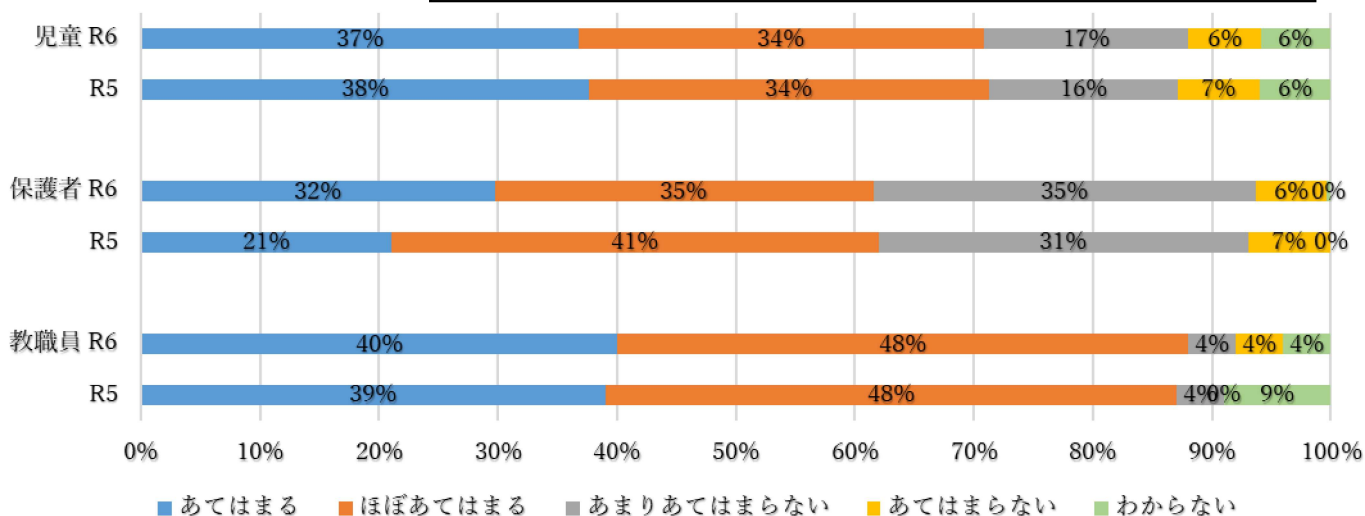
1. 授業の工夫

(児童) 学校の授業は分かりやすく楽しい。
(保護者) 学校公開の授業は、分かりやすく工夫されていましたか。
(教員) 児童が主体的に学ぶ分かりやすい授業を行っている。



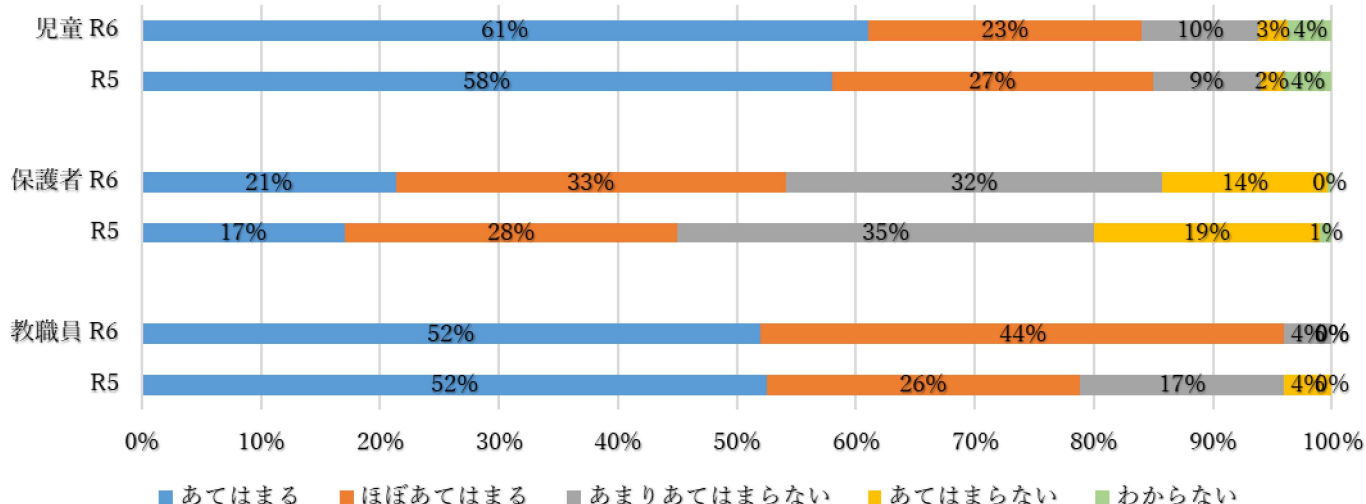
2. 家庭学習

(児童) 家庭学習をすすんでしている。
(保護者) お子さんは、家庭学習をすすんでしていますか。
(教員) 家庭学習の課題を工夫して取り組ませ、学力向上に努めている。



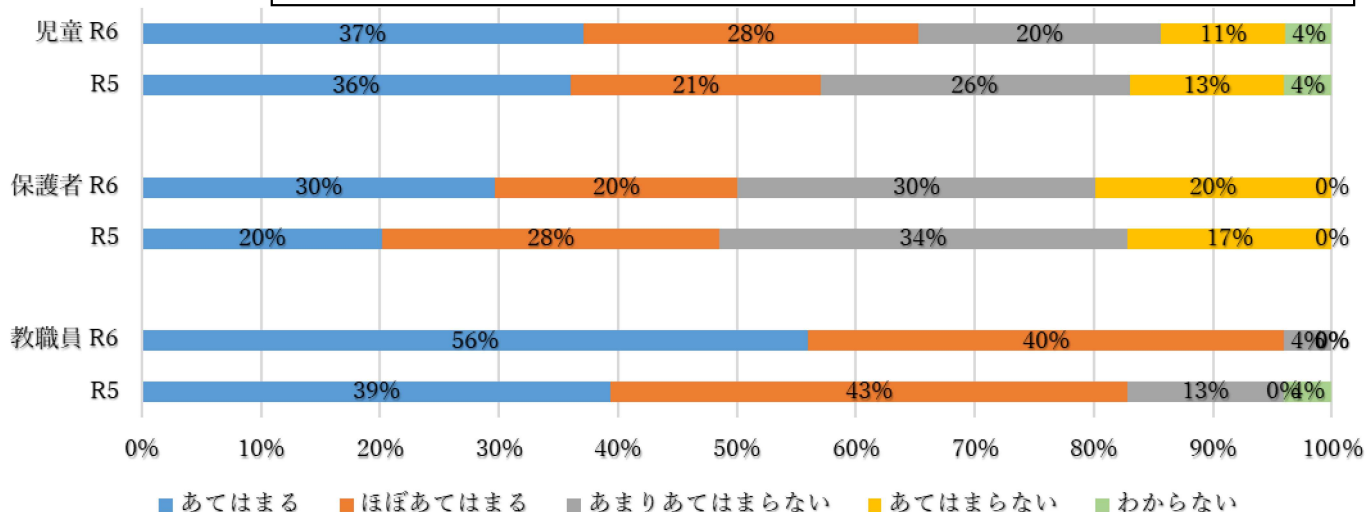
3. ICTを活用した学習

(児童) タブレットや電子黒板を使った学習は、分かりやすく楽しい。
 (保護者) お子さんは、タブレットを使った学習を行っていますか。
 (教員) タブレットや電子黒板など ICT を活用した授業を行っている。



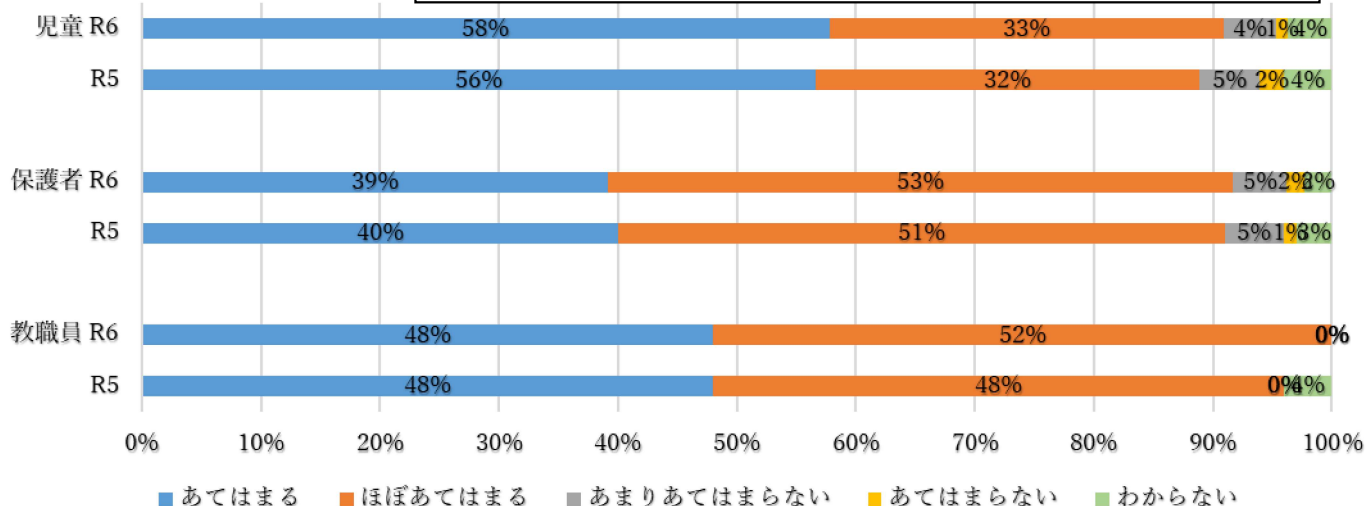
4. 読書教育

(児童) 家や学校、図書館などですすんで読書をしている。
 (保護者) お子さんは、家庭で読書をしていますか。
 (教員) 読書旬間や授業、朝の時間など児童がすすんで読書をするように指導している。



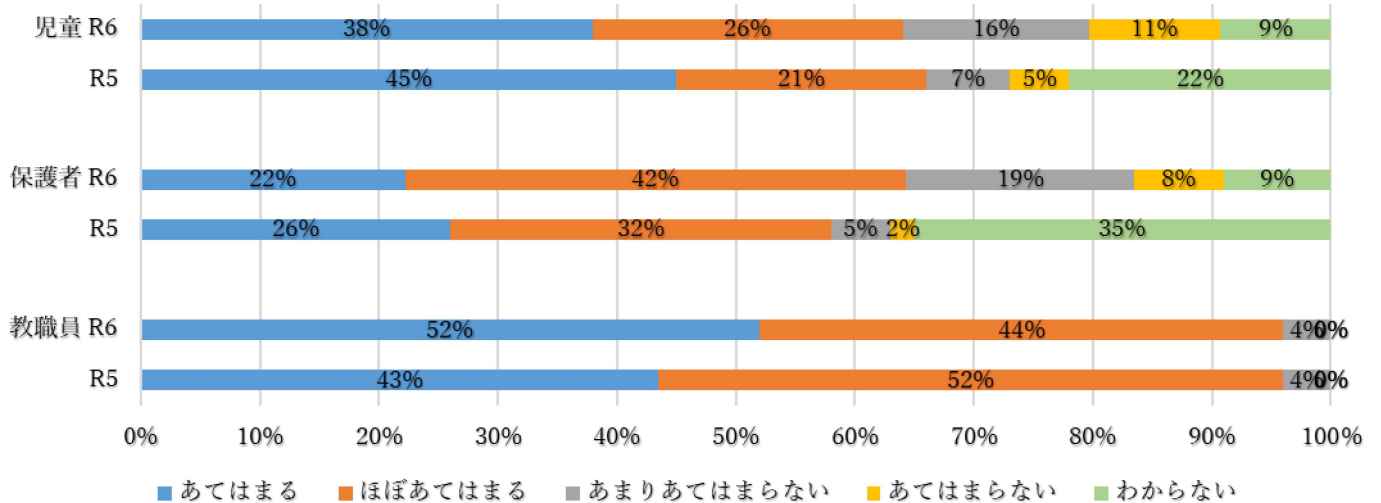
5. 友達とのかかわり

(児童) 友達と仲良くしたり周りの人に思いやりをもって生活したりしている。
 (保護者) お子さんは、友達と仲良くしたり周りの人に思いやりをもって生活したりしていますか。
 (教員) 道徳の授業や交流活動、行事を通して、児童に思いやりの心を育てている。



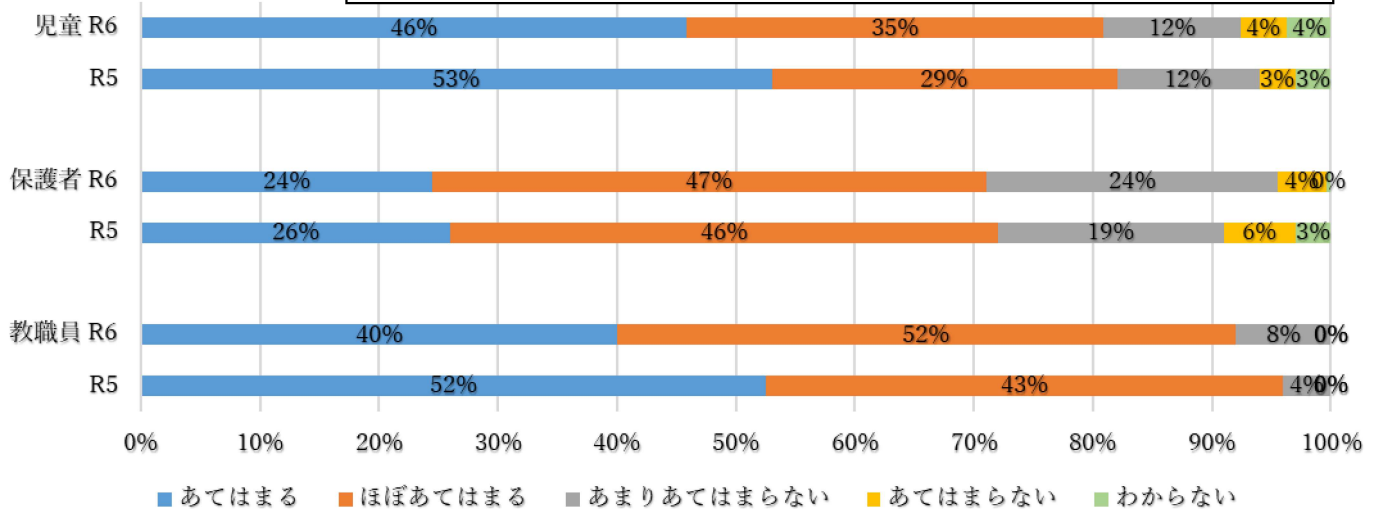
6. 相談体制

(児童) 困ったときは、学校の先生や相談室の先生などに相談しようと思う。
 (保護者) 困ったときは、教員やスクールカウンセラー、心のふれあい相談員などに、相談しようと思いませんか。
 (教員) いじめや不登校などの生活指導上の問題に、適切に対応している。



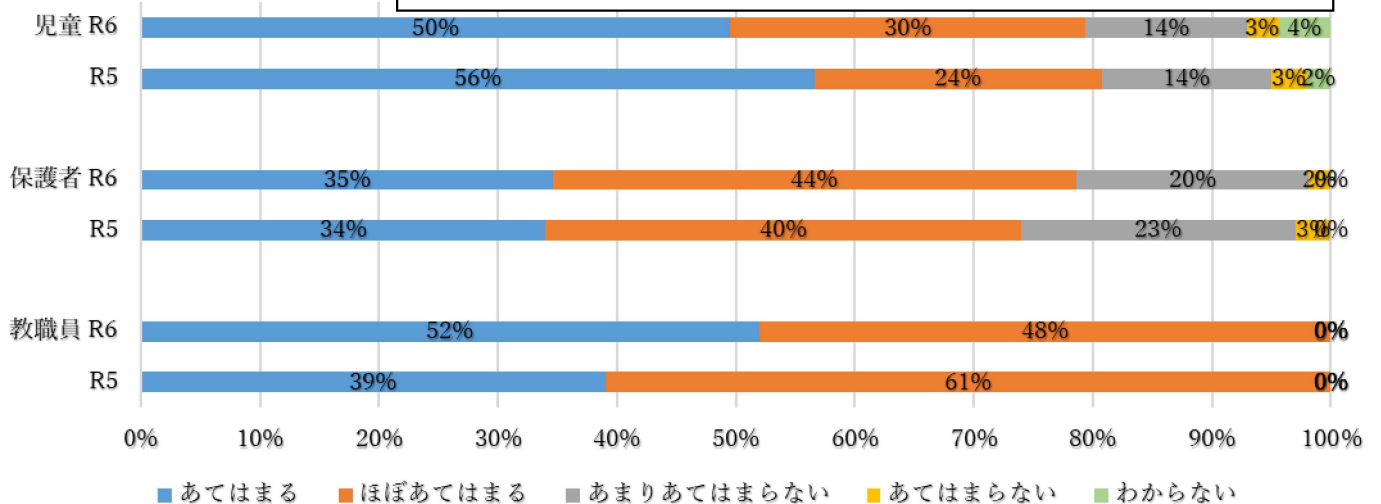
7. あいさつ

(児童) 学校や地域などですすんであいさつをしている。
 (保護者) お子さんは、家庭や地域などですすんであいさつをしていますか。
 (教員) 児童が学校や地域などですすんであいさつをするように指導している。



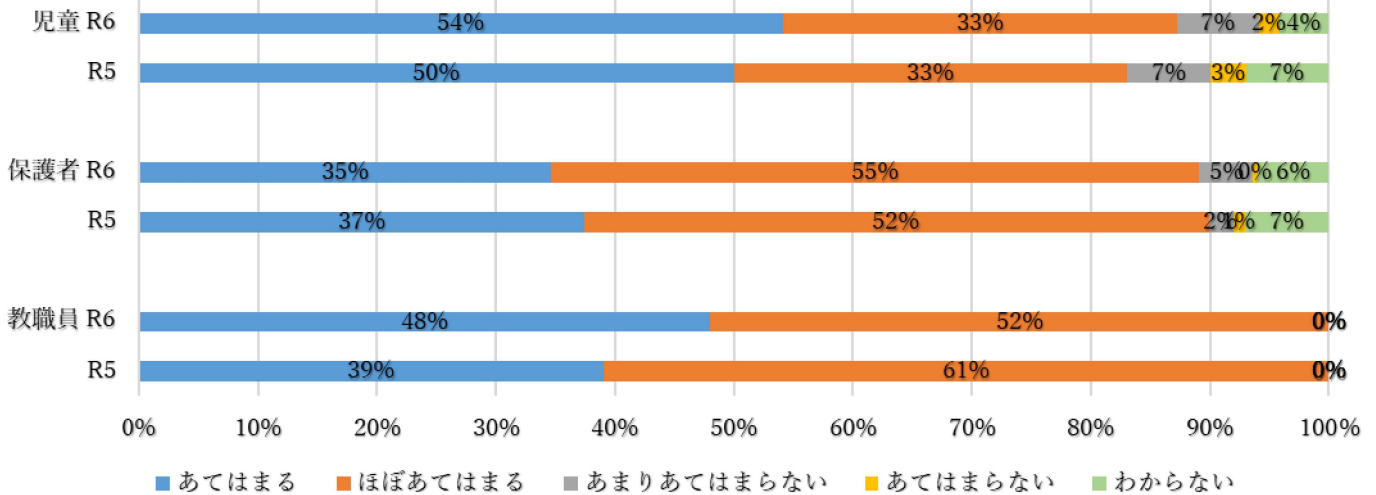
8. 体力向上

(児童) 進んで外遊びや運動をしたり健康に気をつけて生活したりしている。
 (保護者) お子さんは、家庭で外遊びや運動をしたり健康に気をつけて生活したりしていますか。
 (教員) 感染予防、外遊び、体育など、児童の健康と体力向上に努めている。



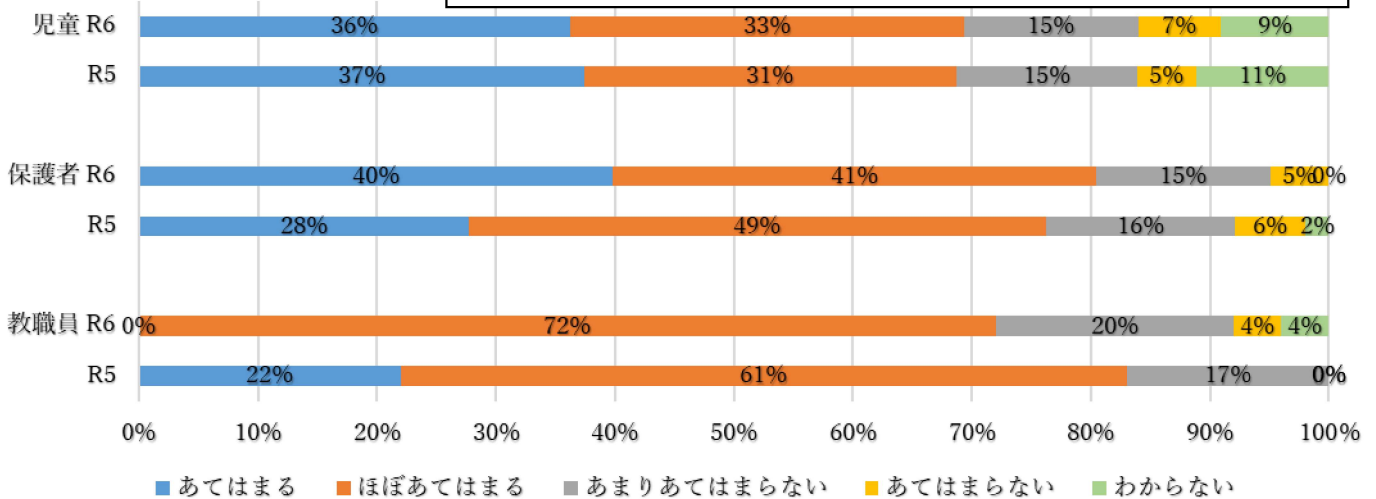
9. 安全指導

(児童) 学校や家庭・地域で、自分や周りの人の安全に気を付けて生活している。
 (保護者) 学校は、セーフティ教室や交通安全教室などを通して事故防止に努めている。
 (教員) セーフティ教室や安全指導を通して、児童が安全安心な生活を送れるように努めている。



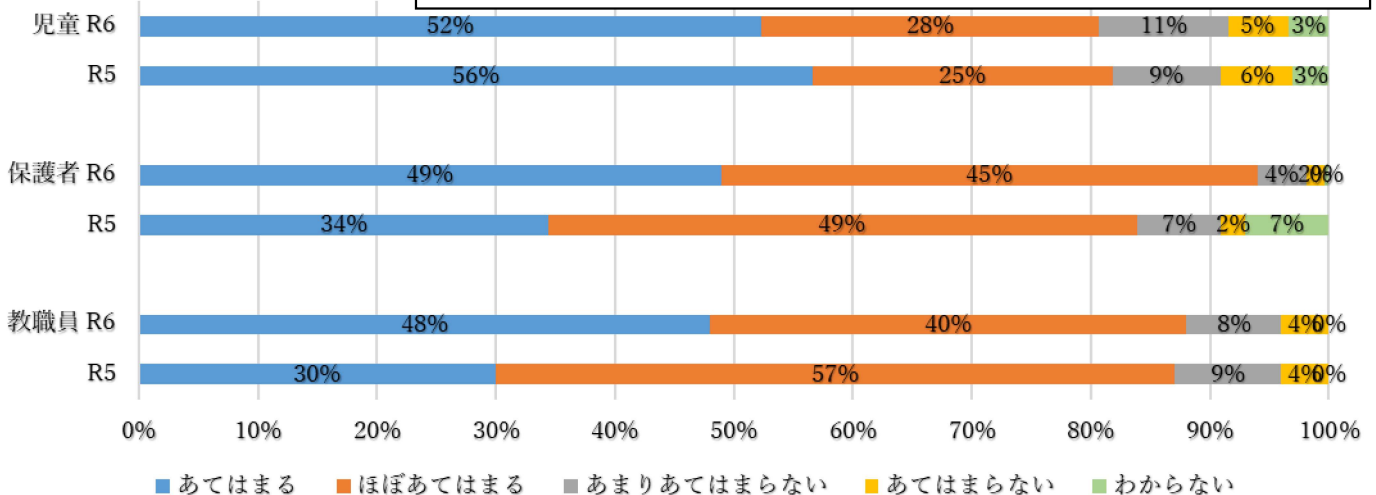
10. 地域とのかかわり

(児) 地域の学習や活動を通して、地域のよさを知ったり好きになったりした。
 (保) お子さんは、地域の施設を利用したり、地域行事に参加したりしていますか。
 (教) 地域の学習や活動を通して、児童が地域について知り、地域に親しむように努めている。



11. 教育活動の発信

(児) 家族に学校のことなどよく話をしている。
 (保) 学校は、SigfyやHP、学校だよりなどで、保護者や地域に積極的に情報を発信していますか。
 (教) SigfyやHP、お便りなどで、保護者や地域に積極的に学校の様子を伝えている。



【令和6年度練馬区立光が丘四季の香小学校 学校評価について】

本年度の教育活動について、保護者の皆様にアンケートの御協力をお願いしましたところ、多くの御回答をいただきました。誠にありがとうございました。この結果を次年度の教育計画に生かしてまいります。これからも、御理解と御協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

1 授業の工夫

「学校の授業は分かりやすく楽しい」に、最上位の「あてはまる」と答えた児童は、昨年度よりも4ポイント増えています。教員の92%は、「児童が主体的に学ぶ分かりやすい授業を行っている。」と答えています。また、保護者は、昨年度より1ポイント増えて84%が「学校公開の授業は分かりやすく工夫されていますか。」という問いに肯定的です。今後も、児童が主体的・対話的に学び、分かる喜びのある授業を行っていきます。また、朝学習の時間などを活用して、個別指導を充実させ、児童に学習の基礎・基本をしっかりと身に付けさせます。

2 家庭学習

児童の71%が、「家庭学習をすすんでしている。」と答えていますが、23%の児童は否定的です。また、保護者も、41%が否定的な回答です。教員の88%は、「家庭学習に日常的に取り組みせ、学力向上に努めている。」と答えています。宿題という受け身になりがちですが、児童がすすんで家庭学習に取り組めるように、学年に応じて内容や出し方を工夫していきます。ご家庭の協力も必要です。よろしくお願いいたします。

3 ICTを活用した学習

教員の96%が「タブレットや電子黒板などICTを活用した授業を行っている。」と答えています。昨年度より8ポイント増えています。児童の84%が、タブレットや電子黒板を活用した授業を分かりやすく楽しいと答えています。今年度は、タイピング大会を開催し、児童のタイピングスキルの向上を図りました。今後も、タブレットや電子黒板などを授業で汎用的に使っていくとともに、家庭学習においてもタブレットを使ってできる学習を取り入れていきます。

4 読書教育

教員の96%は、「児童がすすんで読書をするように指導している。」と回答し、昨年度より14ポイント増えています。児童も「家や学校、図書館などで、すすんで読書をしている。」という問いに肯定的な回答が、昨年度より8ポイント増えています。しかし、保護者の50%が「お子さんは、家庭で読書をしていますか。」という問いに否定的な回答でした。このことから、特に家庭での読書離れの傾向があると思われます。今後は、毎週金曜日の朝読書を活用するとともに、家庭での読書時間を増やす取り組みをしていきます。また、図書ボランティアや光が丘図書館と連携し、読書に親しむ児童を育てていきます。

5 友達とのかかわり

「友達と仲良くすること」は、児童91%、保護者92%、教員100%と、肯定的な回答が昨年度よりも増えています。学校生活では、いじめや仲間外れなどのない温かい友達関係が何よりも大切です。今後も、縦割り班や行事等で異年齢交流を行ったり、道徳の授業や学級会活動などを充実させたりして、児童に思いやりの心を育てていきます。また、いじめの早期発見・早期対応に努め、友達と温かい関係が築ける学級づくりを大切に、家庭や地域と連携して児童一人一人を見守っていきます。

6 相談体制

教員は96%が、「いじめや不登校などの生活指導上の問題に、適切に対応している。」と答えています。保護者は、「困ったときには、教員やスクールカウンセラー、心のふれあい相談員などに相談しようと思う。」という問いに肯定的な回答が64%で、昨年度と比べて6ポイント増えています。一方で、児童は、「困ったときに、学校の先生や相談室の先生などに相談しようと思う。」に肯定的な回答が64%で、昨年度より2ポイント減っています。今後も、相談室の相談体制について児童や保護者の方に周知し、相談しやすく工夫していきます。また、担任だけでなく、教職員の誰にでも児童や保護者の方が相談しやすい雰囲気を作っていきます。

7 あいさつ

児童の81%は、「すすんであいさつをしている。」と答えています。教員の92%は、「進んであいさつをするように指導している。」と答えています。これは、全校で日常的にあいさつ指導に取り組んでいる成果が児童と教員の意識に表れていると言えます。一方で、保護者は、71%が「お子さんは、家庭や地域ですすんであいさつをしていますか。」という問いに肯定的で、児童や教員に比べると少ないです。学校だけでなく地域や家庭でも進んであいさつができるように、ご家庭でもあいさつを奨励していただけると嬉しいです。本校では、光が丘第一中学校と合同で児童が主体となって「あいさつ運動」にも取り組んでいます。あいさつの響き合う学校を目指していきます。

8 体力向上

児童の80%は、「すすんで外遊びや運動をしたり健康に気をつけて生活したりしている。」と答えています。17%は否定的です。保護者は、「お子さんは、家庭で外遊びや運動をしたり健康に気をつけて生活したりしていますか。」という問いに、79%が肯定的で、昨年度より5ポイント増えました。教員は、昨年度に引き続き100%が「感染予防、外遊び、体育など、児童の健康と体力向上に努めている。」と答えています。学校では運動していても、家庭ではすすんで運動する児童と運動しない児童との二極化が考えられます。今後も、体育の授業を中心に児童に運動の楽しさを味わわせます。また、縄跳び月間・持久走月間など全校で取り組んだり、外遊びを奨励して運動量を増やしたりして、体力の向上を図ります。

9 安全指導

児童の87%は「自分や周りの人の安全に気をつけて生活している」と答えていて、昨年より4ポイント増えています。教員も100%が「セーフティ教室や安全指導を通して、児童が安全安心な生活を送れるように努めている。」に肯定的に答えています。保護者も90%が「学校は、セーフティ教室や交通安全教室などを通じて、事故防止に努めている」と答えています。また、今年度もセーフティ教室を行い、たくさんの保護者の方に観ていただき、その成果が表れていると言えます。今後も、交通安全教室やセーフティ教室等地域や家庭と連携した安全教育を積極的に行い、児童自身が自分や周りの人の安全を守るように、日頃から指導していきます。

10 地域とのかかわり

児童は、「地域の学習や活動を通して、地域のよさを知ったり好きになったりした。」に肯定的な回答が69%と、昨年度より1ポイント増えています。保護者は、「お子さんは、地域の学習や地域行事に楽しく参加していますか。」に肯定的な回答が81%と昨年度より4ポイント増えています。一方で、教員は、「地域の学習や活動を通して、児童が地域について知り、地域に親しむように努力している。」という問いに、肯定的な回答が72%と、昨年度より11ポイント減っています。

来年度は、開校15周年を迎えます。これまで以上に地域を教材にした学習を積極的に進め、地域への関心や理解を育て、地域の一員として地域を愛する児童を育てていきます。

11 教育活動の発信

保護者の94%は、「学校は、シグフィーやHP、学校だよりなどで保護者や地域に積極的に情報を発信していますか。」という問いに肯定的で、昨年度より11ポイント増えています。また、教員は、88%がシグフィーやHP、お便り等で、保護者や地域に積極的に学校の様子を伝えている。」と答えています。これは、昨年度1月に始まった練馬区の新しい伝達システム「シグフィー」の活用が大きいと言えます。一方で、児童は、「家族に学校のことなどよく話をしている。」という質問に80%が肯定的に答えています。16%の児童は否定的な回答です。本校では、今後も様々な方法で教育活動や児童の様子などを積極的に発信します。ご家庭でも、学校での様子などお子さんと話をする機会をもっていただけたらと思います。